

重点取組分野 [担当分掌]	8 いじめへの対応
取組目標	児童一人ひとりの個性を生かした環境調整をし、力を発揮できるようにすることで、自己肯定感を育成し、自分の行動に対して正しく判断できる力を育成する。

【いじめ防止対策委員会としての方向性】

いじめ防止検討委員会での情報共有の徹底

- ・今後も月に一回定期的に委員会を開催し、全学級の児童の状況について情報共有し、事案の内容により対応を検討し、実行するだけでなく、必要に応じてケース会議を開催する。

「サイバー犯罪防止教室」の開催

- ・他機関と連携することで、児童、保護者にとっても有意義な学びの機会にしたい。来年度は年度末に日程を確実に押さえ、予定通り実施したい。

重点取組分野 [担当分掌]	9 人材育成・組織運営
取組目標	教職員一人ひとりの資質・能力を把握し、適材適所に配置した校務における実践力の育成を図る。

【研究・研修部としての方向性】

学校評価

- ・前期前半の自己評価を全職員で共有し、今後の学校運営に反映させていきたい。前期前半で振り返り、後期前半につなげていくという流れを今後も継続していきたい。
- ・教育課程の作成と関連させて、学校評価の内容も検討する。

職員研修

- ・教育課程に関わる研修を優先するが、職員の資質・能力の向上を目指す職員研修も実施したい。その際には職員の意向を踏まえた研修を中心に実施する。

重点取組分野 [担当分掌]	10 学校経営全般
取組目標	

【教務部としての方向性】

働き方改革の推進

- ・全教職員が日々の業務を通して、業務内容の見直し、精選の意識をもち、確認しながら業務を進める。
- ・教育課程の作成では働き方改革の視点も入れて検討する。



学校だより

深まる絆 広がる夢

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sakonyama/ 特別号

電話：351-7856 FAX：351-7398 y3sakony@edu.city.yokohama.jp

夢中がいっぱい左近山の子 ~仲間とともに まちとともに 未来とともに~

平成30年10月30日



中期学校経営方針に基づく学校評価結果〔前期〕

昨年度の自己評価結果を活かし、年度当初より中期学校経営方針 [5月学校説明会で配付] に基づいた活動の計画・運営を行っています。7月前期前半終了後、教職員で振り返り、課題については具体策を検討しました。それを第2回教育懇話会で報告し、ご意見を伺い、修正しました。すぐに実施出来る内容については、既に後期からの学校運営の改善に活かしておりますが、その他の内容は継続審議として年度末の反省につないでまいります。12月には教職員だけではなく、保護者、児童からもアンケートを行い年度末の反省をします。結果については3月にお知らせする予定です。(→以下の資料を参照)



【横浜市の学校評価】

中期学校経営方針に基づく学校評価により、**学校の独自性を明確にし、全教職員による組織的・継続的な学校運営の改善を図り、学校・家庭・地域の連携協力による信頼される学校づくりを進め、小中一貫教育推進ブロック等を軸として、学校の自己改善力を高めます。**

「中期学校経営方針」とは…学校の特色を基に、学校教育目標の達成に向けた3年間の学校経営中期取組目標と具体的取組等を明示したものです。学校はこれに基づき学校評価を推進し、年度末に学校評価報告書にて、評価結果を報告する。中期学校経営方針を受け、単年度の学校経営計画が設定される。

☞本校の中期学校経営方針については本校HPを参照→<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamihonjuku/>

重点取組分野 [担当分掌]	1 確かな学力
取組目標	「学び合い」を大切に、基礎・基本的内容の確実な定着を図り、課題を追究し、主体的に問題を解決することで思考力・判断力・表現力を育成する。

【学力向上委員会としての方向性】

学力学習状況調査の分析

- ・4月の懇話会で各学年の傾向を伝えられてよかった。
- ・学力学習状況調査の細かな分析により、さらに重点研究（国語）にも活かしたい。
- ・「確かな学力」とは「学状の成果」のみではない。他に伸ばせるところについても検討する。

家庭学習

- ・家庭学習のねらいはずれていないが、内容の質の向上は必要である。
- ・1～3年は基礎・基本の定着、4～6年は課題追究、主体的に問題解決出来る内容にする。

教師の資質・能力の向上

- ・児童は学び方を知らない等の課題がある。それに対応し、指導する側の教師の資質・能力の向上は必須である。

重点取組分野 [担当分掌]	2 豊かな心
取組目標	基本的な生活習慣の確立及び望ましい人間関係づくりに努め、仲間一人ひとりを大切に思いやりのある集団を育成する。

【豊かな心の育成委員会としての方向性】

道徳の授業

- ・各学年、各学級で今後も行事や児童の実態を考えて授業を行う。

縦割り活動

- ・「なかよし中休み」は計画、運営の準備のために1週間以上間隔をあけて日時を設定する。
- ・中休みが着替え等の準備の時間になるので、「なかよし中休み」を、水泳学習の時期に設定しない。
- ・各クラスで学級活動の授業を行う時と同様、子どもたちがめあてを達成出来るような活動にするために、各担当班の教師が適切な指導をする。
- ・リーダー会議の際には、めあてに合った遊びや、めあてを達成出来るような活動を考えるように指導する。

重点取組分野 [担当分掌]	3 健やかな体
取組目標	進んで運動に親しみ、仲間とともに運動する楽しさや喜びを味わう経験をしたり、食の大切さを理解したりして健康で安全な生活を目指す態度を育成する。

【体力向上委員会としての方向性】

○検討課題が多く出たため、年度末に向けて話し合います。

重点取組分野 [担当分掌]	4 特別支援教育
取組目標	各学級の要配慮児童及び個別支援学級児童一人ひとりの実態に応じた適切な支援・指導の推進を図る。

【特別支援教育コーディネーター連絡会としての方向性】

校内体制づくり

- ・児童指導について 職員間の情報共有を確実にする。

教育ボランティアの募集

- ・活動に対して、ニーズを明確にした上で、保護者だけでなく地域にもボランティアの募集を、年度当初に願います。（1年生の給食指導補助、新体力テスト測定員、運動会、校外学習、ミシン学習補助 等）

重点取組分野 [担当分掌]	5 児童生徒指導
取組目標	一人ひとりの存在感が認められ、活躍の場や居場所のある学級や信頼される学校づくりを図る。

【児童指導部としての方向性】

○検討課題が多く出たため、年度末に向けて話し合います。

重点取組分野 [担当分掌]	6 教育課程
取組目標	主体的、協働的な学習活動の中で、伝え合う力の育成を図り、身に付けたい力を自覚できる学習を進める。【重点研究：国語】

【重点研推進委員会としての方向性】

学年暦

- ・国語に関しては単元名に「指導事項」「言語活動」「時数」を入れて修正する。今年度の研究は年度末に追加する。
- ・国語だけにとらわれず、さらに磨き上げ、精選していく必要がある。教科横断的な視点をもつためにも、単元名のみから脱却し、関連付くものを線で結ぶ。

重点取組分野 [担当分掌]	7 保護者・地域連携
取組目標	子どもが地域の一員として地域に親しみ、大切にすることをもち、発展を願い、地域の「人」「もの」「こと」とかかわって行動する子の育成を図る。

【地域コーディネーター連絡会としての方向性】

地域行事への関わり方

- ・地域の中での子どもたちの様子を知ることは教職員が地域を知る意味でも大切である。祭礼を中心に地域行事を全職員で分担することは今後も継続する。一方、教職員の働き方改革の一環では全教育活動を通して業務の見直し、改善を行う。
- ・今年度から5年生のソーラン節は7月の夏祭り、太鼓クラブは1or2月の祭りに出演することを明確にした。